

# 2007 第3回東大本番レベル模試


## 日本史・採点基準

### 添削記号

東大本番レベル模試・日本史の採点では、次のような添削記号を用いています。

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. <□□□□>             | 加点ポイント            |
| 2. R1/R2              | 論理構成点             |
| 3. □□□□ <sub>x</sub>  | 事実（史実）に誤認あり       |
| 4. □□□□ <sub>?</sub>  | 文意不明              |
| 5. □□ <sup>∨</sup> □□ | 論理に飛躍あり           |
| 6. 「□□□□」             | この部分不要／問題の要求とズレあり |
| 7. □□ <sup>✓</sup> □□ | 誤字あり／脱字あり         |

### 共通の基準

1. 太字・アミカケ□□は各**3点**，二重線    は各**2点**，◇下線    は各**1点**。ただし，採点に際しては常に前後の文脈に留意する。
2. 表現が不十分な場合，あるいはあいまいな場合，その箇所については，それぞれの配点未満の得点とする。（太字・アミカケ□□各**2点**，二重線     **1点**，下線     **0点**）
3. 歴史的名辞\*についての誤字・当て字（漢字で記すべき語句の平仮名使用を含む）は，それが加点点に直接関係する場合，**1点減点**。同一語句がくりかえし誤っている場合は，それぞれを減点の対象とするのではなく，まとめて**1点減点**とする。その他の部分に誤字・当て字があった場合，今回は減点しない。
4. 設問記号を明記していなかったり，欄外に設問記号を記したりした答案や，句読点のはみだしなど字数がわずかに超過している答案。  
本番では，問題冊子「注意事項」から判断すると無効答案になる可能性もある。しかし今回は，受験生の学力を正確に測定するという観点から，あまりにも明白に指定条件を無視している場合を除き，その部分について注意を与えた上で，採点の対象とする。
5.  論理構成点（R）のおおよその基準は，  
優れた論理展開がなされている **2点**，問題の要求に応じた論理が用いられている **1点**，論理展開に難がある **0点**。
6. 各問とも満点（各15点）を超える得点は与えない。